

デジタルライブラリーを  
もっと身近に！もっと楽しく！  
国立国会図書館のデータ活用の  
可能性を探る講演会

**NDL**  
**Digital**  
**Library**  
**Café**

**第1回 文献アーカイブからのナレッジ抽出と情報アクセス**  
Information Access and Knowledge Extraction from Document Archives

ゲストスピーカー：

アダム・ヤトフト (Adam Jatowt) 氏

(京都大学情報学研究科社会情報学専攻特定准教授)

定員：20名

14:00-  
16:00

申込締切：10月10日 (木)

使用言語：英語

※必要に応じて逐次通訳を行います。

**第2回 ジャパンサーチ×エディタソン**

新しいキュレーションを模索する

ゲストスピーカー：

■ 田良島 哲氏 (東京国立博物館特任研究員)

■ 大井 将生氏 (東京大学大学院学際情報学府  
文化・人間情報学コース修士課程)

定員：20名

13:00-  
17:00

申込締切：10月2日 (水)

会場：国立国会図書館東京本館  
(東京都千代田区永田町1-10-1)

費用：無料

申込：以下のウェブサイトを  
ご覧の上お申し込みください。

<https://lab.ndl.go.jp/cms/digicafe2019>



お問い合わせ：

国立国会図書館電子情報部  
電子情報流通課  
標準化推進係

✉ [opendata@ndl.go.jp](mailto:opendata@ndl.go.jp)

# NDLデジタルライブラリーカフェとは？

国立国会図書館は、「国立国会図書館デジタルコレクション」をはじめ、様々なデジタルライブラリーを開発し、インターネットを通じて提供しています。また、2019年2月には、図書館のみならず博物館、美術館、文書館等が所蔵する資料や文化財の情報を一元的に検索することができる「ジャパンサーチ」の試験版を公開しました。これらのデジタルライブラリーは、図書館内での利用はもちろん、研究やアプリケーション開発などへ活用の方が広がっています。

2019年10月11日・12日に、デジタルライブラリーにかかわる研究や最新動向をもっと身近に、もっと楽しくする講演会を開催します。講演会では、「サイエンスカフェ」の手法を取り入れ、研究者や各分野で活躍されている人をゲストにお迎えし、ゲストが紹介する最新の話題について、参加者を交えて語り合います。

## 各回の概要

### 第1回

10月11日（金）14:00～16:00

### 文献アーカイブからのナレッジ抽出と 情報アクセス

### Information Access and Knowledge Extraction from Document Archives

ゲストスピーカー：

**アダム・ヤトフト (Adam Jatowt) 氏**（京都大学情報学研究科社会情報学専攻特定准教授）

SNSやニュースアーカイブなどといったウェブ上で発信される情報に基づいて歴史を研究する、新しい手法の研究者であり、欧州の電子図書館に関する会議 **Theory and Practice of Digital Libraries**の議長であるゲストに登壇いただきます。急増する歴史的文献のアーカイブデータの中からコンテンツを発見するための新しい手法についての話題提供ののち、アーカイブデータが持つ可能性と、図書館の未来について参加者を交えて話し合う場とします。ゲストからの話題提供は英語で、必要に応じて逐次通訳を行います。

講師からのメッセージ：

These days the amount of content stored in long-term document archives is rapidly increasing. This is due to widespread digitization and content curation initiatives aiming at preserving and disseminating our cultural heritage. In this talk, we will describe our latest research towards making document archives such as newspaper article archives more usable and useful to users, both professionals and average users.

We will start with presenting methods for finding and explaining temporal analogs - entities in the past which are analogical to entities in the present (e.g., walkman being a temporal analog of iPad). Next, we will describe our proposals for across-time summarization of historical data to compare present and past time periods or to summarize our knowledge of entity history. We will conclude with the description of our research aiming to design methods for finding interesting and unusual content in archives, as well as methods for searching past content that is related to the present.

### 第2回

10月12日（土）13:00～17:00

### ジャパンサーチ×エディタソン 新しいキュレーションを模索する

ゲストスピーカー：

- **田良島 哲氏**（東京国立博物館特任研究員）
- **大井 将生氏**（東京大学大学院学際情報学府文化・人間情報学コース修士課程）

2019年2月に試験版が公開された「ジャパンサーチ」では、利用者自身がコンテンツを選んで編集するキュレーションのための機能として「マイノート機能」を提供しています。キュレーションの手法や、ジャパンサーチが提供する各種のデータに精通したゲスト2名による講義の後、実際にジャパンサーチのコンテンツを使ってキュレーションに取り組む、「エディタソン」（「編集する（edit）」と「マラソン（marathon）」を組み合わせた造語）形式のイベントです。

#### ■ 参加条件

下記に同意の上、本イベントにお申し込みください。

- 本イベントで作成した成果物の著作権は作成した参加者に帰属します。
- 本イベントで作成した成果物をジャパンサーチ上で国立国会図書館が公開する場合があります。公開に当たってはその二次利用に係る権利表示はクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際パブリック・ライセンスとします。

#### ■ 持ち物

無線LANに接続可能なパソコンをご持参ください。電源・無線LAN環境をご用意いたします。

## 交通手段・アクセス

以下のページをご参照ください。

<https://www.ndl.go.jp/jp/tokyo/route.html>



国立国会図書館  
National Diet Library, Japan